

平成 24 年度 決算の概要

主要計数

(単位:億円)	23年度	24年度	増減
業務粗利益(信託勘定償却前)	35,020	36,342	1,321
国債等債券関係損益	2,703	3,367	663
営業費(▲)	19,945	20,950	1,004
実質業務純益	15,074	15,392	317
与信関係費用総額 <sup>(*1)</sup>	▲1,934	▲1,156	778
株式等関係損益	▲886	▲536	350
株式等償却	▲792	▲873	▲81
その他の臨時損益 <sup>(*2)</sup>	2,466	▲257	▲2,724
経常利益	14,719	13,441	▲1,278
連結当期純利益	9,813	8,526	▲1,287
除く負ののれん(モルガン・スタンレー) <sup>(*3)</sup>	6,906	8,526	1,619

(\*1) 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)+償却債権取立益

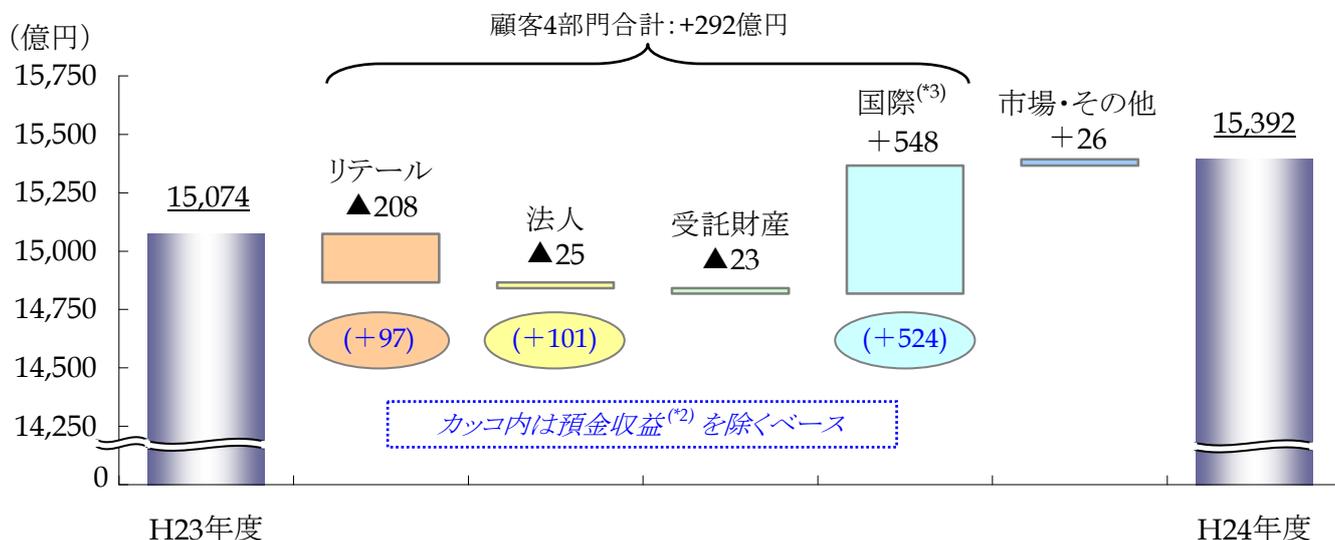
(\*2) 持分法投資損益、利息返還損失引当金繰入額を含む

(\*3) モルガン・スタンレーの持分法適用関連会社化に伴う負ののれん

連結事業本部別収益の状況

- ◇ 計画を下回る低金利環境が続くなか、国内顧客部門は苦戦も、年度後半に掛けて挽回
- ◇ 引き続き国際部門が牽引役となり、実質業務純益は2期連続の増益

[実質業務純益<sup>(\*1)</sup> 増減内訳]



(\*1) 部門別増減(含む預金収益)は管理ベース (\*2) 単体合算ベース (\*3) 為替要因は主に国際部門で約450億円

## バーゼルⅢ連結自己資本比率

	23 年度末	24 年度末	増減
普通株式等 Tier1 比率	—	11.70%	—
Tier1 比率	—	12.74%	—
総自己資本比率	—	16.68%	—

※なお、普通株式等 Tier1 比率(完全実施ベース)は 11.1%

## 25 年度業績目標・配当予想

(単位:億円)	24 年度実績		25 年度	
	中間期実績		中間期	
連結当期(中間)純利益	2,904	8,526	3,600	7,600
普通株式配当/株	中間 6 円	年間 13 円	中間 7 円	年間 14 円

## 25 年度 of 取組方針

- ◇ 『3つの協働』の深化による総合金融力の更なる発揮
  - 新たなお客様のニーズに対して、MUFJ の強みである「グループ会社間」、「リテール・法人部門間」、「国内・海外部門間」協働をフル回転させ、お客様の期待に対応
  
- ◇ 日本経済再生に向けた金融としての貢献
  - 本邦トップの金融機関として、経済再生に向けた政府の成長戦略を金融面から確りとサポート
  
- ◇ グローバルに活動する金融機関に相応しいガバナンス態勢の強化
  - リスク委員会、グローバル・アドバイザリーボードを新設。  
事業のグローバル化に加え、国際金融規制等の経営環境変化に対して、タイムリーかつ柔軟に対応

以上

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。